

# 令和6年度 組織目標設定

所属 部・局 企画財政部

## 【企画財政部 行動指針】

○官民共創による移住定住・関係人口の創出など人口減少時代に選ばれるまちづくりに向けた歩みを進めます。

○第7次総合計画・第2期行財政運営指針の中間年に向け新たな組織体制で諸課題に立ち向かいます。

No.	組 織 目 標	ページ
【第7次宮津市総合計画】		
1	関係人口創出・拡大、移住・定住促進（「深い関わりで幸福の熱量を高めるまち」「移住者と地域住民とのふれあいで地域に新たな活力を生むまち」を目指して） 【若者が住みたいまちづくりプロジェクト/住みたい、住み続けたいまちづくり】	P1
2	地域コミュニティ、市民協働（「地域コミュニティが充実し、人が元気で輝けるまち」「様々な立場の人々が一緒になり、互いの理解・尊重・信頼で、みんなが活躍できるまち」を目指して） 【若者が住みたいまちづくりプロジェクト/住みたい、住み続けたいまちづくり】	P5
3	海の活用（「宮津の海の資源を活かした魅力的な海のみち」を目指して） 【宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト/地域経済力が高まるまちづくり】	P5
4	シティプロモーション（「地域の宝(ヒト・モノ・コト)の誇りが育まれ、選ばれるまち」を目指して）【住みたい、住み続けたいまちづくり】	P6
5	公共交通（「誰もが移動しやすいまち」を目指して） 【安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり】	P7
6	文化・スポーツ振興（「豊かな心と体が育まれる文化芸術・スポーツのみち」を目指して）【ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり】	P8
7	計画の進捗管理	P9
8	「第2期行財政運営指針」に基づく安定した行財政基盤の構築	P10

1	<p>関係人口創出・拡大、移住・定住促進（「深い関わりで幸福の熱量を高めるまち」「移住者と地域住民とのふれあいで地域に新たな活力を生むまち」を目指して）</p> <p>【若者が住みたいまちづくりプロジェクト/ 住みたい、住み続けたいまちづくり】</p>		<p>移住定住・魅力発信課移住定住促進係、魅力発信係</p>
---	--	---	--------------------------------

運営目標	①	<p><b>【施策】</b> 都市部からの人の流れを生み出すとともに、地域の事業者や住民との交流により、関係人口の創出・拡大と地域活性化を図る。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域や市内事業者等の課題解決に取り組む市外人材数 100人 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学連携の取組みによる市内への大学生等の受入</li> <li>・ 都市部人材の活用（複業フェロー等）</li> </ul> </li> <li>○ クロスワークセンターの利用の増 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総利用者数 R5 6,463人 → R6 7,300人</li> <li>・ 通常利用者数（イベント利用を除く利用者） R5 3,750人 → R6 4,200人</li> </ul> </li> </ul> <p>※ 来場者数の増よりも、「チャレンジ（共創）」の取組みを増やしていく</p> <p><b>《参考》 ■ 第7次宮津市総合計画数値目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ワークーション等拠点数・利用企業数 R元：一箇所 ⇒ R4：5箇所12社 ⇒ R7：5箇所10社</li> <li>○ 地域や市内事業者等の課題解決に取り組む市外人材数 R元：44人 ⇒ R4：85人（2大学25人＋副業人材等60人） ⇒ R7：延べ300人</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ クロスワークセンター入居企業と地域との交流・共創機会の創出 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者数の増に向けた取組の促進</li> <li>・ 入居企業と地域との交流機会の拡大</li> </ul> </li> <li>○ 関係人口創出のためのイベントの実施（ツアー等） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係人口向けツアーの造成・実施</li> <li>・ 地域体験、移住体験ツアー等の実施</li> </ul> </li> <li>○ みやづ城東タウンを活用した関係人口づくり調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係人口づくりに向けたニーズ調査等の実施</li> <li>※ データ分析を踏まえ、R6中にみやづ城東タウンC棟の「関係人口づくり向け滞在拠点施設」としての条例化を目指す</li> </ul> </li> <li>○ 地域ブランドプロモーションの取組（地域おこし協力隊の活用） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係人口の創出に向けた「暮らし」のコンテンツ作りと発信</li> <li>・ 地域の魅力発掘</li> </ul> </li> <li>○ ふるさと市民制度の創設・運用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本市出身者や本市の来訪者等に定期的に情報発信を行い、交流やつながりを深める「ふるさと市民制度（仮称）」の創設・運用</li> </ul> </li> <li>○ 市民共創型シティプロモーションの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークショップ形式での「みやづ暮らし」をテーマにしたポスター制作</li> <li>・ 「みやづ暮らし」をテーマにした写真・動画コンテストの実施</li> </ul> </li> </ul>
------	---	---

		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ MIYAZU 未来デザインセンターの外部人材活用事業の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光 DX 等への複業フェローの活用等</li> <li>・デジマ式ワークショップによる都市部企業との新事業共創プログラム実施</li> </ul> </li>   <li>○ 大学・地域連携プロジェクトの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学と地域との連携による課題解決の取組の推進</li> </ul> </li>   <li>○ リカレント教育に向けた取組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・府生涯現役クリエイティブセンターとの連携による講座等の実施</li> </ul> </li> </ul>
運営目標	②	<p><b>【施 策】</b> 移住者数の増に向けた取組み</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市の政策により移住した人の人数 R5 22 世帯 31 人 → R6 25 世帯 35 人</li> <li>○ 社会増減（転入者－転出者）の人数 R4 △43 人 → R5 ○人 → R6 △12 人</li> <li>○ 京都府移住特別促進区域の指定数 R5 8 地区 → R6 10 地区（全地区）</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 移住定住対策推進本部における追加施策等の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本部会議は四半期ごと、戦略チームは適宜実施</li> <li>・R7 当初予算に向け、データ分析等に基づく追加施策の検討を実施</li> </ul> </li>   <li>○ 京都府移住特別促進区域の取組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域との協議を進め、移住促進特別区の指定を目指す（市内全地区）</li> <li>・既に指定された地域では、移住促進に向けた取組を進める（各地域に職員が入り、地域の状況を把握しながら取組を進める）</li> </ul> </li>   <li>○ 地域と協働した移住促進の取組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域側の窓口となる「みやづ暮らしナビゲーター」の設置による移住希望者と地域との接続の推進</li> <li>・移住希望者と地域との「顔合わせ制度」の導入</li> <li>・地域と協働した空き家の掘り起こしや所有者への意向調査の実施</li> </ul> </li>   <li>○ 空き家バンクの充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間不動産物件の空き家バンクへの登録開始（7 月頃スタート）</li> </ul> </li>   <li>○ 新婚世帯、子育て世帯へのすまい支援の活用促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新婚世帯、子育て世帯への制度周知を進め、活用を促進（フリーペーパーや SNS、建築業者等を活用し、近隣市町への情報発信強化）</li> </ul> </li>   <li>○ 定住促進団地（つつじが丘）の販売強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売ターゲットの拡大（特に近隣市町や二地域居住向けにターゲットを拡大し、情報発信強化）</li> <li>・建築事業者への情報提供及び宣伝依頼（フリーペーパーや SNS、建築業者等を活用し、近隣市町への情報発信強化）</li> </ul> </li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>東京圏からの移住創出に向けた取組みの推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 京都府ジョブパーク等を活用した東京圏への情報発信の強化</li> <li>・ 移住支援金対象事業者への市内企業の登録推進 (商工会議所等と連携し、市内企業への制度説明、制度周知等を実施)</li> </ul> </li>   <li>○ <b>情報発信力の強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ シティプロモーション戦略に基づく市の施策の情報発信力の強化  市内研修会の実施：①広報・シティプロモーション研修  ②プレスリリース研修、③写真の撮り方・活用研修  ④人を惹きつける情報発信研修</li> <li>・ 広報誌のカラー化、外部委託の活用による「市民に読まれる紙面づくり」</li> <li>・ 市HP、公式SNS、公式note等によるターゲットに応じた情報発信</li> <li>・ 情報発信サイトの充実（移住希望者の閲覧数が多い民間サイトへの登録）</li> </ul> </li>   <li>○ <b>移住コンシェルジュの充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報発信から案内、移住後のフォローまで含めた体制の構築</li> <li>・ 地域情報の集約（地域カルテの作成）</li> <li>・ 地域体験、移住体験等のツアー造成による情報発信強化 (特に若年層の移住希望者を増やすため、ツアー等による発信を強化)</li> </ul> </li>   <li>○ <b>移住者懇談会の実施</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移住者懇談会の実施による移住者の声の把握  ⇒ 今後の移住戦略の策定に向け、宮津に住むメリットや強みを見出す</li> </ul> </li> </ul>
<p style="text-align: center;">運営目標</p>	<p>③</p>	<p><b>【施 策】</b> 空き家の活用の促進</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 空き家バンク登録数  R5 14件 → R6 30件</li> <li>○ 管理不全な空家の解消率  74.4%(H28-R5) → 80%(H28-R6)</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>地域ぐるみでの空家の掘り起こしの実施</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移住特区の取組において、各地域で空家の掘り起こしを実施 (空家マップの作成、地域から所有者への声掛けの実施など)</li> <li>・ 地域と協働した空き家所有者への意向調査の実施</li> </ul> </li>   <li>○ <b>空き家バンクの充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民間不動産物件の空き家バンクへの登録開始（7月頃スタート）</li> </ul> </li>   <li>○ <b>空き家バンクの情報の周知</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き家バンクのパンフレットの更新（空き家バンクの充実を加味）</li> <li>・ 定期的な空き家所有者への周知（固定資産税通知等へのチラシ配布等）</li> <li>・ 各地域等を通じた住民や空き家所有者への情報発信の強化</li> </ul> </li>   <li>○ <b>空家活用モデルの構築及び情報発信</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空家活用モデル構築</li> <li>・ 地域や事業者への情報発信（展示会や報告会等の実施）</li> </ul> </li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 住まいの終活等の啓発活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移住特区等と連携した各地域でのセミナー等の実施</li> </ul> </li> <li>○ 管理不全空家の状況把握及び所有者等への働きかけ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的（年3回以上）な状況把握の実施</li> <li>・ 所有者等への継続した働きかけの実施</li> </ul> </li> <li>○ 空家特措法の改正に基づく空家空地対策計画・条例の改正 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「管理不全空家」の認定基準の策定</li> <li>・ 空家空地対策計画・条例の見直し</li> </ul> </li> <li>○ シルバー人材センターと連携した空家管理サービス事業の構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空家所有者への情報発信</li> <li>・ ふるさと納税返礼品への登録</li> </ul> </li> </ul>
<p>運営目標</p>	<p>④</p>	<p><b>【施策】</b>  ふるさと納税を通じた地域の魅力発信（地域ブランドプロモーション）の強化</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ふるさと納税寄付額  R5 2億20百万円 → R6 3億円</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 返礼品の増加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旅行商品を中心とした返礼品の増加  （FB社と共に事業者開拓、交渉等を実施）</li> <li>・ 現地決済型、予約販売、あとからセレクト等の寄附機会増大につながる返礼品の検討</li> <li>・ ふるさと納税型クラウドファンディングの制度設計・実施</li> </ul> </li> <li>○ 商品の魅力化、価格の適正化等の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 寄付動向等のデータ分析等による価格の適正化の実施</li> <li>・ 画像の魅力化、記載内容の変更等による商品の魅力化の実施</li> </ul> </li> <li>○ 情報発信の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リピーターづくり</li> <li>・ ポータルサイトの充実（SNS、メルマガ等による発信）</li> <li>・ ふるさと納税を通じた地域の魅力発信</li> </ul> </li> </ul>

2	<p>地域コミュニティ、市民協働（「地域コミュニティが充実し、人が元気で輝けるまち」「様々な立場の人々が一緒に、互いの理解・尊重・信頼で、みんなが活躍できるまち」を目指して）</p> <p>【若者が住みたいまちづくりプロジェクト/住みたい、住み続けたいまちづくり】</p>	 <p>企画課企画政策係、移住定住・魅力発信課移住定住促進係</p>
運営目標	<p>①</p> <p><b>【施策】</b> 地域コミュニティの充実と地域において様々な立場の人が協働して活躍するまちの構築</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 課題解決に取り組む地域・団体数 7 地域・団体 〔第7次宮津市総合計画数値目標〕 ・地域おこし協力隊や大学等と連携し課題解決に取り組む地域・団体数 R元：4 地域・団体（3 大学）（－） ⇒R 7：8 地域・団体（5 大学）（3 地域おこし協力隊）</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題解決型地域おこし協力隊による取組支援を継続（上宮津地区）（通年）</li> <li>・まちづくり補助金（通常タイプ）による市民団体等の活動支援、コミュニティ助成金による自治会等のコミュニティ活動の支援、地域会議補助金等による地域会議の活動の支援（通年）</li> <li>・まちづくり補助金（ふるさと納税型クラウドファンディングタイプ）の創設による市民団体等の活動支援の強化（通年）</li> <li>・エリア連携構想や地域コミュニティのあり方の議論と併せ、地域会議の今後のあり方を検討（体制・目的の見直し）</li> <li>・大学等連携事業による地域課題解決への取組支援（通年）</li> </ul>	
3	<p>海の活用（「宮津の海の資源を活かした魅力的な海のまち」を目指して）</p> <p>【宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト/地域経済力が高まるまちづくり】</p>	 <p>企画課文化スポーツ振興係</p>
運営目標	<p>①</p> <p><b>【施策】</b> ブルーオアシスエリア拡大による地域経済の活性化</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栗田半島を中心とした周辺臨海エリア入込客数の増加 R元：46.2 万人⇒R6：49.9 万人 〔第7次宮津市総合計画数値目標〕</li> <li>・栗田半島を中心とした周辺臨海エリア入込客数 R元：46.2 万人 ⇒ R7：50.8 万人</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> 〈関係者の連帯感の創出〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮津田井海まちフェスタの開催（関西万博 150 日前イベントとの連動）</li> <li>・万博スペシャルサポーター 帆船「BUUE OCEAN みらいへ」寄港イベント実施</li> <li>・事業者連携による「行く目的」を作るためのコンテンツづくりの促進</li> <li>・みなとオアシスたいみやづの拡大（構成施設の増）</li> </ul>	

	<p>〈連携事業の企画・実践〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「宮津港を活かした地域振興にかかる勉強会」への参画を通じたクルーズ寄港に伴う観光振興・地域活性化への取組の実施</li> <li>・「京のみなどオアシス連絡調整会議」を活かし市内事業者を取り込んだPR事業の実施</li> <li>・大阪・関西万博を見据えたPRの取組（大阪・天保山港等との連携）</li> <li>・大阪・関西万博の関西パビリオン（京都ブース・多目的エリア）出展及び海を活用した受け入れ強化</li> </ul> <p>〈田井宮津ヨットハーバーの魅力創出支援〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田井宮津ヨットハーバーの環境整備（栈橋床板取替工事）</li> <li>・田井宮津ヨットハーバーの健全な運営体制の確認</li> </ul>
--	---

4	<p>シティプロモーション（「地域の宝(ヒト・モノ・コト)の誇りが育まれ、選ばれるまち」を目指して） 【住みたい、住み続けたいまちづくり】</p>		<p>移住定住・魅力発信課魅力発信係</p>
---	---	---	------------------------

運営目標	①	<p><b>【施 策】</b> 地域資源を最大限に活かした情報発信を強化し、シビックプライドが育まれ、人を惹きつけ、選ばれるまちづくり</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 市公式HP(シティプロモーション)年間ビュー数 R5： 32万PV → R6： 35万PV 突破</p> <p>《参考》 第7次宮津市総合計画数値目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮津に愛着・誇りをもっている割合 R元：73%⇒R7：100%</li> <li>・市公式HP(シティプロモーション)年間ビュー数 R元：－⇒ R4：24万PV ⇒ R7：30万PV</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市民共創型シティプロモーションによるシビックプライドの醸成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民参加型WS形式による宮津市PRポスターの作成</li> <li>・市民による魅力発掘と発信を促す「写真・動画コンテスト」の実施</li> </ul> </li> <li>○ 地域ブランドプロモーションの取組（地域おこし協力隊の活用）（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係人口の創出に向けた「暮らし」のコンテンツ作りと発信</li> <li>・地域の魅力発掘</li> </ul> </li> <li>○ ふるさと市民制度の創設・運用（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市出身者や本市の来訪者等に定期的に情報発信を行い、交流やつながりを深める「ふるさと市民制度（仮称）」の創設・運用</li> </ul> </li> <li>○ 情報発信力の強化（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>・シティプロモーション戦略に基づく市の施策の情報発信力の強化 庁内研修会の実施：①広報・シティプロモーション研修 ②プレスリリース研修、③写真の撮り方・活用研修 ④人を惹きつける情報発信研修</li> <li>・広報誌のカラー化、外部委託の活用による「市民に読まれる紙面づくり」</li> <li>・市HP、公式SNS、公式note等によるターゲットに応じた情報発信</li> </ul> </li> </ul>
------	---	---

	<p>○ 広聴活動の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の市政参画を促し、共に創るまちづくりを推進するため、市民と行政が双方向に対話する広聴活動の強化 (市民と市長との座談会、どこでも市長室・職員講座の実施等)</li> </ul>
5	<p><b>公共交通（「誰もが移動しやすいまち」を目指して）</b> 【安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;">   <p>企画課企画政策係</p> </div>
運営目標	<p>①</p> <p><b>【施策】</b> 持続可能な公共交通の確立及びシームレスで移動しやすいまちの実現</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・200円バス利用者数 218千人/年</li> <li>・京都丹後鉄道利用者数 1,412千人/年</li> <li>・公共交通空白地有償運送利用人数 3,700人/年</li> </ul> <p>[第7次宮津市総合計画数値目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・200円バス利用者数 R元：340千人/年⇒R7：218千人/年</li> <li>・京都丹後鉄道利用者数 R元：1,580千人/年⇒R7：1,460千人/年</li> <li>・公共交通空白地有償運送利用人数 R元：－⇒R7：3,800人/年</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮津ターミナルセンターの長寿命化及び待合環境や乳幼児向け施設の充実に向けた改修工事を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>○改修工事の実施（4月～10月）</li> <li>○デジタルサイネージの導入（9月）</li> <li>○宮津天橋高校建築科と連携した宮津駅改修に伴うテーブル等の作成（5月～9月）</li> </ul> </li> <li>・エネ高事業を活用し、再生可能エネルギーを活用したグリーンスローモビリティによる観光客や住民の移動手段の確保に向けた体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>○府中地区での実施に向けた調整（7月～8月）</li> <li>○府中地区での運行の実施（8月～9月）</li> <li>○令和7年度実施に向けた地域主体の運行体制の構築（7月～2月）</li> </ul> </li> <li>・丹海バス田井線廃止及び幹線再編に伴う代替策の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>○栗田地区交通空白地有償運送の導入・運行（10月）</li> <li>○上宮津地区交通空白地有償運送の運行ダイヤ・停留所等の見直し（10月）</li> </ul> </li> <li>・公共交通空白地有償運送協議会の円滑な運営や満足度向上、利用者の増加に向けた取組の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>○意見交換会開催（11月以降）</li> </ul> </li> <li>・京都丹後鉄道利用促進協議会による活動（通年） <ul style="list-style-type: none"> <li>○丹鉄こども新聞の発行や中学・高校生向けの丹鉄団体利用の促進による利用啓発の実施</li> <li>○駅の賑わい創出イベントの開催や利用啓発グッズの活用による利用促進</li> <li>○宮津線100周年記念事業の実施（4月、秋頃）</li> </ul> </li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通へのマインドセット(固定観念)の転換を図るため、高齢者や低年齢層を対象とした乗車体験会の実施(年3回程度)やバス・鉄道お絵かきコンテスト(7月～8月)の開催</li> <li>・北部5市2町で連携(京都府北部地域連携都市圏公共交通活性化協議会)し、公共交通事業者の人材確保に向け、自動車教習所と連携したイベント形式でのバス運転手体験会の実施(夏以降)</li> </ul>	
6	<b>文化・スポーツ振興(「豊かな心と体が育まれる文化芸術・スポーツのまち」を目指して)</b> <b>【ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり】</b>		企画課文化スポーツ振興係

運営目標	①	<p><b>【施策】</b>          多彩な歴史文化資源に触れ合う機会の創出と魅力の発信に向けた市民の文化芸術活動の裾野拡大</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的建造物等を活用した音楽・文化活動回数 12回/年</li> </ul> <p>[第7次宮津総合計画数値目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的建造物等を活用した音楽・文化活動回数            R元：－⇒R7：15回</li> <li>・文化団体協議会登録団体の数            R元：33団体⇒R7：35団体</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「街じゅうに音楽を、みやづ」プロジェクト推進によるロゴマークの普及やHPやSNSを活用した情報発信の実施</li> <li>・MUSIC FUSION KYOTO 国際音楽祭(仮称)と連携したイベントや体験講座等を京都府と実施(10月12日(土))</li> <li>・文化芸術活動活性化事業補助金制度の積極的な活用(12件/年)と情報発信</li> <li>・宮津市文化団体協議会の組織強化及び活動支援</li> <li>・市民文化祭の開催(11月2日(金)～4日(日))</li> <li>・旧三上家住宅・みやづ歴史の館・前尾記念クロスワークセンターMIYAZU・浜町ギャラリーを活用した音楽・文化活動や文化団体等の活動PRの促進</li> <li>・宮津おどり振興会への活動支援</li> </ul>
------	---	---

運営目標	②	<p><b>【施策】</b>          「第3期宮津市スポーツ振興計画」の4つの基本目標に基づいた、市民の健康増進とまちの活力を生み出す「スポーツを通じた人とまちの元気づくり」</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成人の週1回以上のスポーツ実施率 50%(R9)</li> <li>・公共スポーツ施設の利用回数 11,500回(R9)</li> <li>・全国・広域的な大会への出場件数 30件(R9)</li> <li>・広域スポーツイベントの年間開催回数 10回(R9)</li> <li>・広域スポーツイベントの年間参加延人数 7,000人(R9)</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮津市スポーツ推進計画策定協議会において、「第3期宮津市スポーツ推進計画」の進捗点検</li> </ul>
------	---	---

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都サンガ F.C. ホームタウン活動の実施 (6月1日 (土))</li> <li>・京都サンガ F.C. ホームゲーム観戦ツアーの実施</li> <li>・京都サンガ F.C. によるサッカー教室の実施</li>   <li>・ジュニアスポーツ育成チャレンジ事業の実施 (支援)</li> <li>・宮津市ヨット・スキー教室の開催</li>   <li>・市民スポーツ DAY に「SOMPO ボールゲームフェスタ」の開催 (10月14日(月・祝))</li> <li>・スポーツ推進委員活動の推進 (巡回ニュースポーツ教室の展開、委員の発掘等)</li> <li>・野球教室の開催 (8月20日 (火) 講師：糸井嘉男氏)</li>   <li>・4都市スポーツ大会 (本市主管)、丹後大学駅伝の開催</li> <li>・広域スポーツ大会への支援</li> </ul>
--	--	---

7	計画の進捗管理	企画課企画政策係
---	---------	----------

運営目標	①	<p><b>【施 策】</b> 第7次宮津市総合計画推進施策を着実に実施する。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第7次宮津市総合計画基本計画(後期)の策定に向けた基本計画(前期)の総括及び策定スケジュールの作成</li> <li>・エリア連携構想に向けた話し合いを進展</li> <li>・「財政健全化に向けた取組み」の5年間 (R元～R5) の取組みの検証と健全化効果の見える化</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第7次宮津市総合計画推進本部会議の開催(年4回。5月・8月・11月・1月)</li> <li>・第7次宮津市総合計画実施計画の修正(8月)</li> <li>・第7次宮津市総合計画基本計画(前期)の庁内点検(10月～2月)</li> <li>・第7次宮津市総合計画基本計画(後期)策定に向けた庁内検討(10月～2月)</li> <li>・第7次宮津市総合計画の進捗管理を行う「宮津市総合計画等有識者会議」の開催(年2回。10月、2月)</li> <li>・エリア連携構想策定に向けた意見交換会(10回程度。10月～2月)</li> </ul> <p>※市長、学識経験者と一緒に地域に入って、意見交換を実施 令和5年度は市内全地区に入ったが、女性・若者が少ない傾向にあったことから、令和6年度は女性・若者をターゲットに「10年後の地域」について意見交換等を実施</p>
------	---	--

8	「第2期行財政運営指針」に基づく安定した行財政基盤の構築	財政課予算係、 資産活用係
運営目標	①	<p><b>【施 策】</b> 今後の人口減少等を見据えた「持続可能な歳入確保策」及び「行政サービスのあり方」の検討</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 「中長期的に安定した行財政運営」に資する具体策の構築</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 持続可能な行財政運営有識者会議（外部有識者）による検討の実施</li> <li>・ 予算査定等での見直しの実施 → 個別事業について、予算査定において適宜見直し</li> </ul>
運営目標	②	<p><b>【施 策】</b> 使用料・手数料の見直し（原価積上げ方式による全面見直し）</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「受益者負担の適正化に関する指針」の策定</li> <li>・ 指針に基づく個別使用料等の改定</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年度内の改定（条例等改正）を行うとともに、R7 当初予算に反映させる</li> </ul>
運営目標	③	<p><b>【施 策】</b> 公共施設マネジメントの着実な実行</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 「公共施設再編方針書」におけるフェーズ1（R7 年度まで）の達成率 R4 年度末 33%（34/103 件） → 60%（62/103 件）以上</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「庁内検討会議」において各施設所管課の R6 達成目標の設定と進捗管理</li> <li>・ 「有識者等による推進会議」において再編の進捗報告と検証</li> <li>・ 施設譲渡負担金制度の活用促進</li> </ul>
運営目標	④	<p><b>【施 策】</b> 民間資金等活用による島崎・浜町ウォーターフロントエリアの再開発</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> エリア毎の活性化方針を固めるとともに、市としての事業化の判断（確定）</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有識者等による検討会議を設置し、市民意向も把握した上で、事業化に向けたエリア毎の活性化方針の策定</li> </ul>

<p>運営目標</p>	<p>⑤</p>	<p><b>【施 策】</b> 遊休資産の売却推進</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> R6 当初予算額（10,000 千円）の確保</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一定要件を満たす土地は、R5 から実施している「住宅建設促進に向けた最低売却価格の見直し」に基づき早期売却を促進</li> <li>・ 遊休資産の情報公開（市HP）及びニーズ調査の充実</li> <li>・ 公共施設再編（廃止）による新規物件の掘り起こし</li> </ul>
-------------	----------	---